

# 店舗外でのふれあい▶

店舗外の様々な場面で行われている  
ふれあい活動をご紹介します。

## ふれあい活動

### カンボジア学校建設 プロジェクト

「スクール・エイド・ジャパン」の  
建設した校舎は累計で19校と  
なりました。約1万人の子ども  
たちが学び始めています。



### わたみ北海道自然学校

2004年度からはワタミファーム  
(瀬棚農場)のある北海道瀬棚町  
に場所を移し、農業(酪農)体験など  
をプログラムに加えました。



# ワタミグループではどのような社会貢献活動をしているの？

社会のあらゆる場面で「ありがとう」を集めるべく様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

## 社会活動に対する基本姿勢

ワタミグループは「地球上で一番たくさんのお礼を集めるグループになる」をグループスローガンに掲げ、「企業市民」として「企業活動」と「市民活動」の両立・共存を目指し、活動を行なっています。

## 教育

### わたみ北海道自然学校

1999年より毎年8月に小学校高学年生を対象とした「わたみ北海道自然学校」を開催しており、2003年度で5回目の開催となります。これは、子どもたちの持つ「思いやり、誠実さ、謙虚さ、感謝の心、素直さ」など、「人間が本来持っている美しい資質」を高める「きっかけ」を提供できたら、との思いから始めたイベントで、2003年度は45名の子どもたちが参加、11名の社員が先生として参加しています。



わたみ北海道自然学校(農作物収穫体験)

## 地域活動

### バザー

ワタミグループの社会貢献活動が本格的に始まったのは、1995年5月に施設バザーへの屋台出店からです。これらのバザーには、本部社員を中心に継続的に参加しており、2003年度は4回の開催に参加して52名の社員が参加しました。ここでは、お好み焼きなどの模擬店を出店し、合計481千円を主催団体様に寄付させていただきました。グループ会社でもそれぞれの形で地域交流の一環として地域のバザーやイベントに積極的に参加し、その売上は主催団体様や「スクール・エイド・ジャパン」へ寄付をさせていただきます。



## ボランティア

### 病院ボランティア

2004年4月に設立されたワタミメディカルサービス(株)を通し、病院の、主にターミナルケア病棟(ホスピス)の入所者様たちとのレクリエーション、散歩、プランター整備などのお手伝いを定期的に行わせていただくことを始めました。

ボランティアとして参加させていただくことにより、参加者が自分の目で見て・ふれあい・感じることを通して生きることについて学び、人生について考えるきっかけをいただいています。

2004年度は合計8回の参加を予定しています。

### お食事会

1999年の7月と9月に横浜訓盲院、横浜援護授産所の方々をお迎えしてお食事会を開催。以来、ハンディキャップがあるなど社会参加の少ない方を店舗に招待し、「お食事会を通じた交流会」を開催しています。

2003年度のお食事会は33回行われ、1,115名の方々を招待し、761人の社員がボランティアとして参加をしました。この活動を通して、あたたかな思い出を提供するとともにサービスの原点であるホスピタリティーを学び、一人ひとりが人に優しい心を持てるような機会をいただきました。



店舗での「お食事会」の記念撮影

### ふれあいカード

1996年11月より「未来の子どもたちのために」をテーマに始めたふれあいカードは、グループ店舗での利用時にも特典を受けられるクレジットカードで、年間の国内ワタミグループでの利用総額の1%以上を社会貢献活動を行う団体へ寄付しています。

2003年度は8,554,582円を「スクール・エイド・ジャパン」に寄付させていただきました。



### 「和み亭」のおもちや

ワタミグループでは、ハンディキャップのある方々の社会参加を後押しさせていただくことも重要だと考えており、1999年6月より「和み亭」店舗にショーケースを設置し、「授産品」の販路を広げるお手伝いをしています。(2004年3月末現在37店で設置)

2004年4月より、「NPO法人日本セルフセンター」との協力を開始し、全国571団体で働く方々への支援をするきっかけをつくりました。これらの製品は、店舗近隣の地域作業所やセルフの方々がボランティアの方々と共に心を込めて作られています。

2003年度は1,350千円を代行販売させていただきました。



「和み亭」のおもちや



「和み亭」のおもちや

### 1%クラブ

1997年8月より、日本経済団体連合会の1%クラブ(経常利益の1%相当額を自主的に社会貢献活動に支出しようとする企業や個人の連合会)に加入し、数値目標をもってプログラムを推進しています。

1%クラブのホームページ <http://www.keidanren.or.jp/1p-club>

### 特定非営利活動法人「スクール・エイド・ジャパン」の支援

「自分たちの手で行なう社会貢献」をテーマに、ワタミグループ各社と全社員が支援する特定非営利活動法人「スクール・エイド・ジャパン(SAJ)」を2001年3月に設立しました。

スクール・エイド・ジャパンの活動費は、ワタミグループの役員、社員、並びにアルバイトメンバーによる寄付・ワタミグループ店舗内募金箱・ワタミふれあいカード寄付活動が中心となっています。

「スクール・エイド・ジャパン」について詳しくは



P17

### 養護学校との交流

「地域の方々との交流を通じ、地域社会に貢献していくこと」を目的として、ワタミ手づくり厨房相模原センターの従業員と相模原養護学校との交流を始めました。この一環で2004年3月には養護学校の卒業式に参加し、卒業生をお祝いしました。このような活動を続けながら、さらに地域との交流を深め、地域への貢献を目指して行きたいと考えています。

### ボランティア研修

1997年4月に、横浜ボランティア協会との協力で新入社員が地域の作業所を訪問しボランティア活動を行うプログラムを導入。以降、新卒社員の入社時研修として4月に行われています。2003年度は295人が52の作業所などの施設で研修を行いました。



ボランティア研修風景

### 環境活動

#### 地域清掃・美化活動

本社・ワタミファーム・ワタミ手づくり厨房・FLOWER KITCHENおよびワタミグループの店舗近隣地域にて地域の清掃を行なっています。迷惑駐輪の整理や歩道・道路の清掃には、2003年度は105名が参加しました。この活動は、環境意識の啓発を行うと共に現在も継続的に活動を行っており、地域の環境向上に貢献しています。



地域清掃

### 1000000人のキャンドルナイト

ワタミグループでは地球温暖化問題を真剣に考え、CO<sub>2</sub>削減にグループをあげて取り組んでいます。その一つが2004年6月20日に実施された

「1000000人のキャンドルナイト」です。「でんきを消して、スローな夜を」をテーマに様々な団体・企業が全国で取組み、ワタミグループでは20時~22時まで国内ワタミグループ399店舗の看板を消灯し、6月20日の20時時点でご来店中のお客様全組様にキャンドルとメッセージカードをお渡ししました。



## 海外支援はどのような活動をしているの？

「自分たちの手で行う社会貢献」をテーマにNPO法人「スクール・エイド・ジャパン」を設立・支援しています。主な活動として海外の子どもたちに教育環境と教育機会を提供しています。

### 「スクール・エイド・ジャパン」について

「自分たちの手で行う社会貢献」をテーマに、開発途上国への支援を願う社員の思いを形に変えて、2001年3月に神奈川県知事より認証(3月5日法人登記申請)を受け、ワタミグループ各社と社員全員が支援する特定非営利活動法人(NPO法人)「スクール・エイド・ジャパン(SAJ)」を設立、活動を開始しました。

#### 活動目的

スクール・エイド・ジャパンは、「一人でも多くの子どもたちに、人間性向上のための教育環境と教育機会を提供する」ことを目的としており「子どもにかかわる教育支援プロジェクト」に積極的に取り組んでいます。

その具体的な活動として小学校教育を中心に、教育環境の提供(学校建設支援、教材・教具・図書の提供)教育機会の提供(学費里親制度としての「ふれあいサポート・プラン」)等の支援活動を行っています。

### 教育支援3つの方針

スクール・エイド・ジャパンは、教育支援を行う上で3つの方針をもとに行っています。

#### 学校教育を充実させる

開発途上国においては、学校教育は子どもの基礎学力の向上を組織的、効率的に行うために特に重要な役割を果たします。より多くの子どもたちが教育を受けられるよう、小学校教育を中心とした支援活動を行います。

#### 地域に根ざした支援

支援対象地域の状況に合わせた教育支援活動を行います。

#### 点から面への支援

一地域からその周辺より広い地域への教育の浸透が図られることを

### ふれあいサポート・プラン

貧しくて入学できない、退学をしなくてはいけない子どもたちの支援をし、「教育機会の向上」を目指す制度です。

具体的には、スクール・エイド・ジャパンが「学校建設支援」を行った学校の子どもたちの中から、貧困家庭(親が病気で働けない、親に定職がなく収入が少ない、田畑がない・田畑が洪水で水没し収穫がないなど)の子どもたち、親のいない子どもたちに、年間、制服1着、ボールペン8本、ノート20冊を提供し、学校に通えるように支援します。

サポーターの方には、支援を受けている子どもたちの写真を撮り、子どもたちが書いた手紙等を添えて送付します。遠い国の様子を垣間見ることができ、遠い国の子どもたちと手紙で交流ができることが大きな魅力です。

2003年度は、カンボジアのトモケオ・スラッカエル両校の163人の子どもたちを対象に試験導入を行いました。その結果、出席率が良くなり、成績も向上するなどの効果が見えました。親、先生からは「子どもたちが学校を楽しみにしています。子どもたちのためにも、ぜひ継続して支援を行ってください。」との声があがり、州教育局もこの制度の効果に着目していただいています。

スクール・エイド・ジャパンは今後、より効果の高い教育支援のために、この制度を推進していきます。



「ふれあいサポート・プラン」で制服や文具を提供しています。



カンボジアの子どもたち



カンボジアスラッカバス小学校の井戸と子どもたち

日本の小学校で児童にカンボジアの子どもの生活を話しています。子どもたちが自発的に募金活動をして、井戸を贈ってくれました。

### スクール・エイド・ジャパンへのご支援方法

#### 会員

年間の支援会費額により2つの支援方法があります。スクール・エイド・ジャパンの活動は、継続して支援していただく会員の皆様のご協力によって成り立っています。

1	1口：年額12,000円
2	1口：年額6,000円

#### 寄付

個人で、グループで協力して・・・などさまざまな支援方法があります。

一般寄付 (金額自由)	金額の規定はありませんので、お気持ちでご協力ください。
指定寄付 (使途限定)	①学校建設寄付(1口10万円) カンボジアで学校建設を支援する制度です。約350万円で、1棟(5教室)・トイレ2つ・井戸1つが目安です。
	②ふれあいサポート・プラン (学費里親制度、1口：12,000円) 子どもの学費1年分を支援する制度です。

皆様のご支援・ご協力を心よりお待ちしております。

【会費・寄付金のお振込みは】

郵便局:00220-8-64660

三井住友銀行:蒲田支店 普)3689367

口座名:特定非営利活動法人スクールエイドジャパン

ワタミグループ店内では払込用紙をレジにご用意しました。レジ係にお申し付けください。

# School Aid Japan



カンボジア・プレイヴェン州  
ソピン・スワイサムサップ小学校



トモケオ小学校の授業風景

## 支援実績・計画

2003年度は、カンボジアに合計9校の建設(29,376,769円) 文具や教材・教具の支援(185,649円)「ふれあいサポート・プラン」試行(72,411円)を行いました。なお、2004年度は16校(17校舎)の建設を予定しています。

今後の数年間の計画は、カンボジアを中心に活動を行ってまいります。カンボジア国内においても、より支援を必要とする地域へと、支援の手を広げていきたいと考えています。

そして、将来的には、ネパールやモンゴルなどの他のアジアの支援も進め、教育環境と教育機会の提供をしていきます。

### 支援実績

着工年月	竣工年月	国・地域	学校名	規模	その他支援
2001年11月	2002年2月	カンボジア・コンボンチュナン州	トモケオ小学校(第1校舎)	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2002年 3月	2002年6月	カンボジア・コンボンチュナン州	トモケオ小学校(第2校舎)	5教室・9m×40m	黒板・机・椅子
2002年 3月	2002年6月	カンボジア・コンボンチュナン州	スラッカエル小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2002年10月	2003年2月	カンボジア・コンボンチュナン州	プリエル小学校	5教室・9m×24m	黒板・机・椅子
2002年 2月	2003年6月	カンボジア・コンボンチュナン州	スラッカバス小学校	3教室・9m×24m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年 4月	2003年8月	カンボジア・コンボンチュナン州	クランサモー小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年 4月	2003年8月	カンボジア・コンボンチュナン州	ロリヤニック小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年 4月	2003年8月	カンボジア・プレイヴェン州	ポーアングウッド小学校	5教室・9m×40m	黒板・机・椅子
2003年11月	2004年3月	カンボジア・コンボンチュナン州	トアップスロウ小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年11月	2004年3月	カンボジア・ポーサット州	コラップ小学校	5教室・9m×40m	井戸・黒板・机・椅子
2003年11月	2004年3月	カンボジア・コンボンチュナン州	チョンロットダイ小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年11月	2004年3月	カンボジア・コンボンチュナン州	チョンボラサット小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年11月	2004年3月	カンボジア・プレイヴェン州	ソピン・スワイサムサップ小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2003年11月	2004年3月	カンボジア・クラチエ州	コロアアップ第1小学校	4教室・9m×32m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年 4月	2004年8月	カンボジア・コンボンチュナン州	キエンタマー小学校 1	5教室・9m×40m	黒板・机・椅子
2004年 4月	2004年8月	カンボジア・コンボンチュナン州	オーロイ小学校	3教室・9m×24m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年 4月	2004年8月	カンボジア・コンボンチュナン州	ロンナカイ小学校	3教室・9m×24m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年 4月	2004年8月	カンボジア・プレイヴェン州	スワイアット小学校	5教室・9m×40m	トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年 4月	2004年8月	カンボジア・クラチエ州	ア・ロウチ小学校	3教室・9m×24m	黒板・机・椅子

### 支援計画

着工予定年月	竣工予定年月	国・地域	学校名	規模	その他支援
2004年11月	2005年3月	カンボジア・コンボンチュナン州	ブノムタサン小学校	5教室・9m×24m	トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・コンボンチュナン州	チアンリユング小学校	3教室・9m×24m	トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・クラチエ州	ブレックチャムラク小学校	5教室・9m×40m	トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	ブンカンテュット小学校	5教室・9m×40m	黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	チュクミッス小学校	5教室・9m×40m	黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	オーサングン小学校 2	3教室・9m×24m	黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	ブットトリム小学校	3教室・9m×24m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	ソーフィー小学校	3教室・9m×24m	トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	ブングコク小学校	3教室・9m×24m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	ユースヴィネイ小学校	5教室・9m×40m	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子
2004年11月	2005年3月	カンボジア・ポーサット州	チュウトム小学校 2	(5教室・9m×40m)×2棟	井戸・トイレ棟・黒板・机・椅子

1：日本NGO支援無償資金協力による。 2：日本NGO支援無償資金協力を申請予定。

# 環境に関してどのようなコミュニケーション活動をしているの？

環境展への参加やエコツアーなどを開催して、みなさまとのふれあいに努めています。

## エコツアー

全従業員及び一般の方々を対象として、自覚教育および啓発活動の一環として環境関連施設の見学会「エコツアー」を継続開催しています。

中でも「ワタミエコロジーリサイクルセンター」では、企業、学校法人、インターンシップの学生等の要望に応じて随時、見学会を実施しております。

2003年度は他施設見学会を含め全3回実施し、合計で393名の参加がありました。

第1回 2003年3月～4月	ワタミグループ新卒社員エコツアー (リサイクルセンター～ワタミファーム～ワタミ手づくり厨房)
第2回 2003年8月	神奈川大学・経営学部研究室・リサイクルセンター見学会
第3回 2003年11月	自由参加エコツアー (リサイクルセンター～ワタミファーム～リサイクルボード工場)

## 環境啓発活動

環境サークルや大学、専門学校の要望に応じて、企業における環境活動事例の紹介等の講習会を各施設にて実施しています。

また、一般の方々へワタミグループの環境活動の取組みの一端を理解していただくために、自治体主催の「環境展」にも継続して出展しています。環境展への出展は今年で4回目となりました。

2003年	6月	東京商科学院・環境学習 <ISO14001、ワタミグループの環境活動他>
	12月	エコプロダクツ環境経営実践推進セミナー <日本環境経営大賞授賞事例発表>
	12月	日食新聞・食品品質環境マネジメント研究会 <ISO認証取得と活動について>
2004年	2月	環境展「大田区エコフェスタ(中萩小学校にて)開催
	3月	神奈川県庁ISO14001研究会 <ワタミグループの環境経営戦略>



大田区エコフェスタ

## ワタミヘルプライン開設

### 開設主旨

ワタミグループは、グループ内に存在する問題を広く受け、積極的に問題を解決し、自己改善、自己自浄のできる「いいグループ」となることを目指します。システムとして企業の社会的責任に対応するため「メールによる情報収集窓口」を社内外に開設しました。



### 受付体制の説明

ワタミグループ企業の  
法令・契約違反  
不当な要求や地位の濫用  
店舗で使用する食材の品質にかかわること  
など、私たちが社会の信頼を失う可能性のある内容について、Eメールによる情報提供をお願いします。  
お願い：情報のご提供は「実名」が原則となっております。  
(通報者守秘義務の約束の項をご覧ください。)

もし思い当たることがあれば  
窓口へ、Eメールにて  
ご連絡ください。

### 受付窓口

Eメールの受付窓口は「ワタミグループ内窓口」と「外部に委託した窓口」の2つあります。  
グループ内窓口は社内独立組織の「ヘルプラインプロジェクト」がメールを受け付け、対応します。  
w-helpline@watami.net  
外部委託の窓口は(株)インテグレックスに設置されており、通報者の所属や氏名などを伏せてワタミ社内の「ヘルプラインプロジェクト」に情報が提供されます。  
w-helpline@integrex.jp  
法令上の義務を負う場合を除き、本人の了解なく氏名などがワタミ側に情報提供されることはありません。  
インテグレックス社は「企業の社会責任を支援する会社」で、連絡者とワタミグループの間に中立性を維持します。  
インテグレックスホームページ <http://www.integrex.jp/>

### 通報者守秘義務の約束

ワタミ社内の「ヘルプラインプロジェクト」とインテグレックス社の「ヘルプライン」は、通報者の秘密を守ります。

### 報復禁止の約束

通報者がヘルプラインに情報を提供することでワタミグループから報復を受けることはありません。

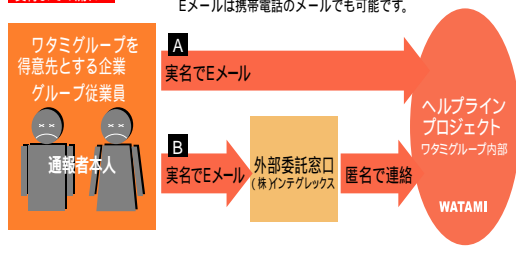
### ヘルプライン受付アドレス

- WATAMIヘルプラインプロジェクト [w-helpline@watami.net](mailto:w-helpline@watami.net)
- (株)インテグレックス 外部委託会社) [w-helpline@integrex.jp](mailto:w-helpline@integrex.jp)

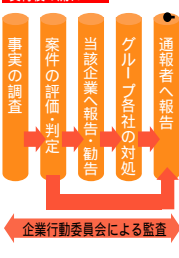
Eメールは携帯電話のメールでも可能です。

## WATAMIヘルプライン

### 受付までの流れ



### 受付後の流れ



### 通報者報告の流れ

